

平成22年度 第1回 第4次総合計画フォローアップ会議 会議録概要

◆日 時：平成22年10月22日（AM10：00－PM12：00）

◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室

◆参加者：委員…大西・前川・山内・湯口・吉川（座長）委員
事務局（政策推進課） … 村本、谷口、大原、仲谷

発言者	発言概要
事務局	<p>◆事務局より開会あいさつ 事務局メンバーの変更を報告。 ・井之上が他課へ異動となり、新たに谷口・仲谷が加わる。</p> <p>◆会議の進行について 座長の選出について、昨年も吉川委員になっていただいたが、今回もお願いさせていただきたい。 ⇒（異議なし）</p> <p>続いて座長に職務代理の選任をお願いしたい。</p>
座長	<p>昨年同様大西委員で。 ⇒（異議なし）</p>
事務局	<p>会議の公開・非公開について、公開とさせていただきたい。 ⇒（異議なし）</p> <p>傍聴人数を5名とさせていただいてよろしいか？ ⇒（異議なし）。傍聴についてはHPでもお知らせしたが、現在のところ希望者はない。</p> <p>議事録作成のため、会議を録音させていただきたい。 ⇒（異議なし）</p>
座長	<p>議事録は出来次第送付してほしい。 ⇒（事務局了承）</p>
事務局	<p>今年度のフォローアップのスケジュールについて、5回分の予算を取っているが、5回目は報告会となるため、実質4回の審議となると考えている。</p>
事務局	<p>◆会議を開始 事前送付分と本日配布分の資料の不足を確認させていただきたい。 ⇒事前送付分の第3期実施計画書に奇数ページの落丁があったため、差し替える。また、資料の数が多いため、事務局が中身の説明をしながら、順次内容の確認をしていくこととなる。</p>

	<p>○事前送付資料（21年度のフォローアップ会議にて作成が位置づけられた資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林市総合計画フォローアップ会議委員一覧（P1） ・富田林市総合計画フォローアップ会議設置要綱（P2） ・会議の公開に関する指針（P3～P4） ・フォローアップシート①…各事業のしくみづくりの年度別取組み状況（P5～P7） <p>⇒21年度について主にまとめ、22年度も現段階で分かっている部分を表示している。また、職員に「3つのしくみづくり」を認識させる政策推進課の取組みについて枠を新設した。</p> <p>⇒21年度の特徴的な取り組みとしては、次世代育成支援行動計画の策定に当たり、団体ヒアリングを実施（通番7）。市民協働事業評価制度研究会の開催（通番13）。 訂正…通番9の保育所のあり方検討委員会実施については、21年度を削除し、20年度に移していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップシート②…各事業の年度別事業費と各しくみづくりの該当・非該当（○or×）をまとめたもの <p>○当日配布分資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1（各種実績データ）…各課より事業実績を収集して一覧にしたもの。昨年会議の資料に21年度実績を追加した。 <p>⇒数値が大きく減少しているものもあるが、インフルエンザの影響が大きい。それも含めて、数値が大きく変動しているものについては、その理由を付記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2（市民の声アンケート集計）…情報公開課で実施しているアンケートの集計を表にしたもの。同じく昨年会議の資料に21年度の実績を追加した。 ・資料3（市民の声アンケート集計）…満足度・重要度の上位5を表したもの。 <p>⇒ここ数年大きく動いていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4（平成21年度事務事業評価集計表）…別添の事務事業評価表の中から、成果指標・見直し実績・評価《成果》・トータルコストを抜き出したもの。 <p>⇒前回報告書で各種事業評価シートを提出するとなっていたが、量の加減もあり部分的に抜き出し、一覧表とした。</p> <p>(資料説明終了)</p> <p>委員 座長</p> <p>事務事業評価表は、桁数が分かり難く、小数点以下のフォントを小さくするなどの工夫が必要。</p> <p>今年度のフォローアップ会議の進め方を考えるに当たり、今回の会議の位置づけを確認したい。まず、総合計画は策定5年後の見直しとなっているが、5年目なのか5年経過後なのかで時期は変わってくるが？</p>
--	---

事務局	5年目、23年度での見直しであると考えている。
座 長	<p>昨年の会議ではどうフォローアップしていくか(やり方)をまとめて終了したため、前回は具体的な評価を行っていない。今回は、フォローアップシートの中身を見て、前回の内容(しくみづくり)がいかに反映されているか、初めて“評価”を行うこととなる。</p> <p>本日の会議の流れとしては、まずは総合計画の理念及び昨年のフォローアップ会議の再確認を行い、つづいて今回の資料の確認、そしてそれを基にどう評価していくかについてのフリートークとなろうかと思う。</p>
委 員	<p>前回報告書の別紙2、フォローアップ会議の工程表を確認。</p> <p>23年度の中期見直しが、どのようなメンバー(形)で行われるのかはわからないが、23年度のフォローアップの結果が、総合計画の中期見直しに反映されればと思う。ただ、このところを考えるべき位置付けである政策推進課の中で、(現在なされていない)中期見直しのイメージの具体化をしておくべき。</p>
委 員	<p>今年度の議題としては、第2章のタテ糸のどの部分に重点を置くべきか、そして設定された活動評価の適切さ。前回の反省点の一つとして、なぜそれを指標に設定したのか原課ヒアリングできなかった。</p> <p>事務局の指標設定のヒアリングについては基本的には政策推進課で行い、その結果を諮ってもらう方が良い。</p>
事務局	<p>現在のヒアリングの実施状況について、実施計画はシートが作成された事業は全て行っているが、行政評価については実施していない。</p>
委 員	<p>中期見直しといっても、必ずしも基本計画を変更するものではない。ただ、しくみづくりのための制度・条例などの整備が進んでいない。そのため、実施計画書の第1章にメニューとして出てこない。「市民参加のしくみづくり」として条例化するなど明記しておかなければ、市長の交代があった時などに、その位置付けが固定されない。</p>
委 員	<p>一時期話題になった住民投票条例など、市民参加に関する条例制定については積極的に提言していく必要がある。</p> <p>(地域福祉計画を例に)作成過程については各種団体へのヒアリングが行われるなど、評価できる部分もあるが、中に使われている言葉は同じ総合計画の下にあるにも関わらず、他の指針や行動計画と統一されていない。そこは各課で統一して用いるべきであるし、そうすることで総合計画が中身のあるものになる。もし、そうしたい文言が総合計画の中にあるならば、その変更なども考えるべき。</p>

委員	たしかに富田林市人権行政推進基本計画を見ても、職員に総合計画の意識が薄く、各課バラバラで一つの方向を向けていない。
委員	中期見直しでは、各種指針や計画と総合計画との相互関係の見直しを行うことが必要ではないか。
委員	(この問題点の理由として) 各課は、市の総合計画よりも、国や府の補助金の交付等直接事業に関わる評価項目を重要視してしまっており、それ以外の仕事を余分な仕事と考えてしまっているのではないか。
委員	まさにその点に“発想の転換”が必要であり、そうなるように評価していくことが必要ではないか。
座長	行政評価の問題点については？
委員	(先程の話の続きで) 行政評価は国・府から求められておらず、仕事が増えるだけと考えると、本音としてはやりたくはない。 (資料4を見て) 本来、施策の進捗はアウトカム(成果指標)を見て行うべきであるが、そこにアウトプット(活動指標)が設定されているなど、適正に設定されていない。
委員	各々、資料を見て問題点を抽出し、疑問のある部分についてヒアリングを行うという方法もあるのでは？
委員	成果指標の設定の在り方について検討し、各課からの「どのようなものを指標として設定すべきなのか」という疑問に対して、他市の事例も見ながら、ここ(フォローアップ会議)で提言できるようにすればよいのではないか。 (事務局に対し) 指標の見直しについてはあり得るのか？
事務局	施策への貢献度を示す成果指標については、経年変化をとらえていく視点からも、あまり変えるべきではないと考えている。ただ、活動指標については、各年の実績を基に変更することはあり得る。
委員	成果指標の設定は、難しいところがある。数(数値)は設定しやすいが、その質を表現することは難しい。また、人事異動等人の入れ替わりにより、影響されないよう持続性や多様性を表現できるものが望ましい。
事務局	指標の設定の際には、担当課との調整を行うべきと考えているが、現時点では出来ていない。
委員	1章に関わるメニュー(事業)がなぜ出てこないのかについて、外との“連携”に

	<p>ばかり目が向けられていて、そういうものがないと該当しない事業だと考えてしまい、事業を決める（始める）段階で市民を入れるという発想がない。この点について議論し、1章の理念を活かすようにすべき。</p> <p>職員だけでなく市民の側も自分のまちの問題に関わっていくという意味で“発想の転換”が必要。</p>												
委員	<p>次回の資料について。</p> <p>総合計画との関係や文言を見るため、（現在効力を有している）指針・行動計画を一式用意してもらいたい。</p>												
座長	<p>できればその一覧表があった方が良い。</p> <p>⇒（事務局了承）</p>												
委員	<p>（実施計画を基にして集計した）フォローアップシート②について、今回の表には全事業が出ているのか？また、（しくみづくりの）○×が前年と同じところが多く、取組みがなされているのか、付けている○に具体的なイメージがあるのかが課題ではないか。</p>												
事務局	<p>（この表に）全事業は出ていない。また、行政評価についても全事業行っていないが、課によっては担当する事業数が多いため、全事業でシート作成するとなると負担が大ききところがあり、作成数を制限した。（最低5事業以上などという形）</p>												
座長	<p>（行政評価については）現時点で全事業を行えていなくてもやむを得ないのではないか。</p>												
委員	<p>各職員が成果を仕事の意義と捉え、目的を共有しながら事業に当たることで、行政改革にもなり、将来の夕張市化も防げるのではないか。</p>												
座長	<p>◆おわりに</p> <p>今回の資料を基に、第2章のどの部分をピックアップし、どのような形で進めるべきなのか、各々の意見を次回会議で出し合いたい。</p> <p>今後の日程について</p> <table data-bbox="395 1664 1061 1843"> <tr> <td>第2回会議</td> <td>11月10日（水）</td> <td>AM10:00～</td> </tr> <tr> <td>第3回会議</td> <td>11月24日（水）</td> <td>PM13:30～</td> </tr> <tr> <td>第4回会議</td> <td>12月28日（火）</td> <td>PM15:00～</td> </tr> <tr> <td>第5回会議</td> <td>未定</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上</p>	第2回会議	11月10日（水）	AM10:00～	第3回会議	11月24日（水）	PM13:30～	第4回会議	12月28日（火）	PM15:00～	第5回会議	未定	
第2回会議	11月10日（水）	AM10:00～											
第3回会議	11月24日（水）	PM13:30～											
第4回会議	12月28日（火）	PM15:00～											
第5回会議	未定												